

ぶどう品種「ハニーブラック」

本県のぶどうは、約60%を「キャンベルアーリー」が占め、消費者に好まれる大粒種の栽培は、気象条件で制限されるため面積は少ない。

農水省果樹試験場カキ・ブドウ支場で育成されたぶどう「ハニーブラック」は、食味が良好で、日持ち性も良いなど品質の優れた紫黒色大粒品種と認められた。

表1 「ハニーブラック」の樹齢別果実品質

年次	樹齢	房重(g)	1粒重(g)	糖度(%)	酸度(%)
1987	3	487	11.0	20.0	0.57
1988	4	211	7.0	17.0	0.94
1989	5	214	9.7	19.6	0.54
1990	6	267	9.6	22.0	0.46
1991	7	249	9.9	20.6	0.50
1992	8	311	12.8	19.2	0.55
1993	9	238	8.9	21.1	0.49
1994	10	173	9.5	19.1	0.43
1995	11	391	8.7	20.4	0.56
1996	12	154	13.0	19.5	0.56
平均		270	10.0	19.9	0.56

「ハニーブラック」の房重は250～300g、1粒重は10g程度である。

糖度は20%程度、酸度は0.56%程度で、「紅伊豆」と比べて糖度は2%程度高く、酸度は同程度であり、食味は非常に良好である。

発芽期、開花期、成熟期は「紅伊豆」とほぼ同時期である。

表2 「ハニーブラック」及び「紅伊豆」の生態

品種	発芽期	開花期			成熟期
		始	盛	終	
ハニーブラック	5/12	6/26	6/29	7/1	9/27
紅伊豆	5/10	6/25	6/28	6/29	9/28

表3 「ハニーブラック」の系統適応性検定試験成績抜粋

品種	果肉硬度	裂果性	脱粒性	果皮色	果肉特性
ハニーB	やや軟	無	難	紫黒	中間
巨峰	硬	無	難	紫黒	中間
紅伊豆	軟	中	容易	紅	塊状

果皮色は紫黒色で、果実品質は巨峰と類似する点が多い。果実の日持ち性は、「紅伊豆」より良く、脱粒性が少ないため、輸送性に優れる。

花振るい性がやや多いので、強樹勢にしないなどの対策を実施する。雨よけ栽培により、花振るいを軽減できる。

凍寒害防止のため、幹に稲わらを巻くなどの防寒対策を実施する。

過着果は、品質の低下や、耐寒性、翌年の収量等にも影響するので、生産目標は、10a当たり1.0～1.2tを目処とする。



写真1 ハニーブラックの結実状況